

事例1

< 事例概要 >

- ・ 進行癌化学療法中に播種性血管内凝固症候群を併発した患者。意思疎通困難。
- ・ 死因は、頸部血腫による窒息。死亡時画像診断 (Ai) 有、解剖無。
- ・ 全身状態改善の輸液目的で、プレスキャンをした上で右内頸静脈より中心静脈カテーテルの挿入を試みたが、頸動脈を穿刺し圧迫止血。その後、リアルタイム超音波ガイド下に、左内頸静脈に穿刺を試みたがカテーテルが進まず、抜去したところ血腫を形成し圧迫止血した。手技終了 10 分後より呼吸狭窄音が出現し、さらに 50 分後に胸部X線で気管の右側偏位を確認した直後に、呼吸音減弱、血圧測定不能となり死亡した。